



# ちばりは ニュース

2021年2月発行 第43号

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

— 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

## 基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



〒266-0005

千葉市緑区誉町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>



コロナなんかには  
負けないぞ!

## 外部向け研修会の開催

(ご報告・ご案内)

コロナ禍に負けず、Zoom 等での web 開催を活用し千葉リハでは様々な外部向け研修会を企画しています。今回は令和2年11月から令和3年3月までの期間の研修会について、ご報告・ご案内します。

～ご報告～

### 10/14 高次脳機能障害地域支援者向け 12/16 連続講座 2020

参加者数：270名

昨年度5回シリーズで開催した講座を概論1時間とし、同じ内容を2回配信しました。障害特性と対応、関わりのポイントを盛り込み、当センターの高次脳機能障害支援センタースタッフ4名が、15分交代で講演を行い、参加者が集中しやすいよう工夫をしました。終了後のアンケートにおいては、「大変役にたった」51%、「役に立った」49%、その他「職場を離れず受講出来て良かった」「分かりやすかった」「良かったです」等の声をいただきました。



### 12/19 第2回 せき損リハ・ケア研修会

参加者数：43名

「頸髄損傷不全四肢麻痺に対するリハビリテーション～高齢者を中心に～」をテーマにコプラスト株式会社の中村奈緒子先生をお招きして、最新の排泄事情についてご講演いただきました。当センターの職員からは、菊地センター長をはじめとする各専門職（医師、療法士、看護師、ソーシャルワーカー）から、それぞれの職種の視点における頸髄損傷不全四肢麻痺に対する評価と支援について講演しました。

#### 第2回せき損リハ・ケア研修会 頸髄損傷不全四肢麻痺に対する リハビリテーション ～高齢者を中心に～

2020年12月19日(土)

研修会では、多岐(医師・看護師・ソーシャルワーカー・理学療法士)の協働による高齢者への個別対応の重要性について講演いたします。

ぜひご参加ください!

時間：13時00分から16時20分(予定)

(昼食は12時30分より)

開催方法：オンライン開催 (Zoomを使用します)

対象：千葉県内の神経損傷看護支援に携わる

医療従事者 各位専門職の皆様

定員：50名

受講料：2,000円

申し込み：当センターホームページ、または以下の

URL、QRコードからお申し込みください

申し込み締め切りは12月16日まで

<https://forms.gle/Vg6wDM2E8BdGfC46>

お問い合わせ先

〒266-0005 千葉県千葉市緑区誉町1-45-2

Mail: [sekiyon\\_center@chiba-reha.jp](mailto:sekiyon_center@chiba-reha.jp)

電話：リハビリテーション課 電話 043-291-1831

第二課 電話 043-291-1857

第一課 電話 043-291-1857

第二課 電話 043-291-1857

第三課 電話 043-291-1857

第四課 電話 043-291-1857

第五課 電話 043-291-1857

第六課 電話 043-291-1857

第七課 電話 043-291-1857

第八課 電話 043-291-1857

第九課 電話 043-291-1857

第十課 電話 043-291-1857

第十一課 電話 043-291-1857

第十二課 電話 043-291-1857

第十三課 電話 043-291-1857

第十四課 電話 043-291-1857

第十五課 電話 043-291-1857

### 2/7 第74回日本リハビリテーション 医学会関東地方会



菊地センター長の学会会長挨拶

当センターの菊地センター長が会長を務める本学術集会を事務局として開催しましたので、ここで併せてご紹介します。

当日は274名の医療職の方々が参加され、WEBでの一般演題には36題のポスター講演が寄せられました。併せて開催された専門医・認定臨床医生涯教育研修会では、千葉大学大学院医学研究院整形外科学教授大鳥精司先生、横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室教授 中村健先生、東京湾岸リハビリテーション病院 院長 近藤国嗣先生の講演がありました。

1/9 第14回 地域リハビリテーションフォーラム

参加者数：64名

当センターが千葉県リハ支援センターとして主催している本フォーラムは、例年講演やポスター発表を実施していましたが、今回はオンラインで開催しました。その特性を活かし、県内の他に広島・兵庫・京都・滋賀の県リハ支援センター、広域支援センターの担当者が参加しました。地域の垣根を越えた意見交換を通して、地域リハビリテーションの重要性を再認識するとともに、コロナ禍での活動のアイデアを参加者同士、共有しました。



1/13 2020 当事者・家族のための 高次脳機能障害勉強会

参加者数：77名

当事者・家族向けの勉強会を開催してほしいとの要望を受けての初開催となりました。高次脳機能障害の症状や生活で困らない工夫について、専門職でない当事者やご家族が理解しやすい表現や見せ方を工夫しました。WEBでの開催となったため、集中して聞いていただけるか心配でしたが、講義の途中で休憩とストレッチを挟む工夫をした結果、参加された方々から「集中することができた」との声をいただきました。



1/22 第17回 高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

参加者数：502名

今年度は「回復期医療以後の千葉リハ高次脳支援」をテーマに、退院後の外来・高次脳機能障害支援センター・更生園の利用などの当センターの支援の特徴を講演しました。当事者・ご家族の方でも視聴しやすい内容となるよう、全体を4つのパート(20分)に分け、各パートの話が一連の流れとなるよう研修を構成しました。事後のアンケートでは「1講義20分の区切りは聞きやすい」「講義が一連の流れになっていてわかりやすい」等の声をいただきました。



1/24 脊髄損傷 リハビリテーション講習会

参加者数：595名 (事前参加登録者数)

脊髄損傷者当事者・家族向けにオンデマンド配信形式で実施しました。「脊髄損傷者の生活に役立つ移乗用具」をテーマとし、総論、スライディングボードと移乗リフトの概要と使い方を当センター職員が講義しました。例年、約100名に参加頂いていますが、今回は地理的な条件や身体的な状況、時間の都合に限らず視聴可能なため、視聴ページへのアクセスは約400と例年以上になりました。特に時間に限らず視聴できることが好評でした。



担当者たちから

WEB開催を経験しての感想

- ・参加申し込みや受付が簡単にできる。
- ・遠方からの参加が期待できる。
- ・WEBだと反応が直接的には見えないため、内容が理解してもらえたのかなど実感が難しい。
- ・実技等ができず、講演内容が制約される。

- ・オンデマンド配信形式の場合、参加者の好きな時間に視聴できるため、子育て世代や仕事をしている方へ情報を届けやすい。
- ・打ち上げや交流会ができなかったことが残念。
- ・WEBと集合研修の良いところを組み合わせた研修を今後検討したい。

～今後の開催予定～

よりよい支援のために知っておきたい支援者向け研修

第3回

# 小児高次脳機能障害 支援者向け研修会



2019年度に実施し、好評いただいた内容の再演です。

2021年 3月 5日 金 13:00-15:30 Web開催  
Zoomによる配信

## 小児高次脳機能障害概論

- 13:05-13:55
- ・子どもの高次脳機能障害とは  
(千葉リハ小児神経科)
  - ・子どもの高次脳機能障害支援の流れ  
(千葉リハ支援コーディネーター)

## リハビリテーションの実際

- 14:05-15:25
- ・運動を通じた高次脳機能障害のリハビリ (PT)
  - ・注意・視覚認知のリハビリ (OT)
  - ・言語・記憶のリハビリ (ST)
  - ・心理カウンセリングと家族支援 (心理)

15:25-15:30 終了の挨拶・アンケート

対象者 医療・福祉・教育・行政関係等の支援者

定員 45名 (先着順)

申込方法 E-mailにてお申し込みください  
kojinoushien@chiba-reha.jp

申込締切 ご好評につき、  
申し込み多数のため  
締め切りました



## 研修会のご案内

# 「明日からできる脊髄損傷の評価」

日時 3/12 (金) 18時半～19時半

方法 Zoomを使用したWeb配信となります

参加費 無料 申し込み期間 3月9日(火)まで

どの疾患においても「評価」は現状を把握してリハビリテーションを提供する上でとても重要です。千葉県では年間300名程度の方が脊髄損傷を受傷していると推定されていますが、実際に脊髄損傷の方を担当することは多くはありません。また、脊髄損傷の評価は参考書や文献を見るだけでは分かりにくい部分もあります。本研修会では脊髄損傷にあまり触れたことがない方でも評価を実践できるよう、基礎的な知識を伝達することを目的としています。お気軽にご参加ください。

- 内容
- ・Frankel分類
  - ・Zancoili 上肢機能分類
  - ・WISCI II
  - ・千葉県脊髄損傷データベースのご紹介
  - ・ASIA
  - ・SCIM

### 受講申し込み

以下の申し込みフォームより  
ご申し込みください。



URL  
<https://forms.xls/3aZdeTn0j:699Fda>

※申し込みが完了後、受講に関する  
ことはメールにてご案内いたします。  
メールアドレスは間違いない  
ようにご確認をお願い致します。

主催：千葉県千葉リハビリテーションセンター 脊損リハセンター

問い合わせ先：〒266-0005 千葉県千葉市緑区菅田町1丁目45番2  
メールアドレス [sekison.center@chiba-reha.jp](mailto:sekison.center@chiba-reha.jp)  
センターホームページ <https://www.chiba-reha.jp/>  
担当：第二理学療法科 鈴木 / 第二作業療法科 神保



ホームページでご確認いただけます→

## 千葉JRAT 千葉県知事より感謝状

当センターが事務局を務める千葉 JRAT (※) の令和元年台風15号における被災地支援活動に対して、森田千葉県知事から感謝状が贈られました。

### 当時の支援活動の状況

R1  
9/9

- ・台風15号が千葉県に上陸
- ・県災害医療本部が設置される。

9/10

- ・リエゾン (連絡員) を県庁へ派遣

9/13

- ・安房保健医療調整本部にリエゾンを派遣
- ・千葉JRAT構成団体への協力要請開始

9/16

- ・千葉県より協定に基づいた支援チームの派遣を要請される

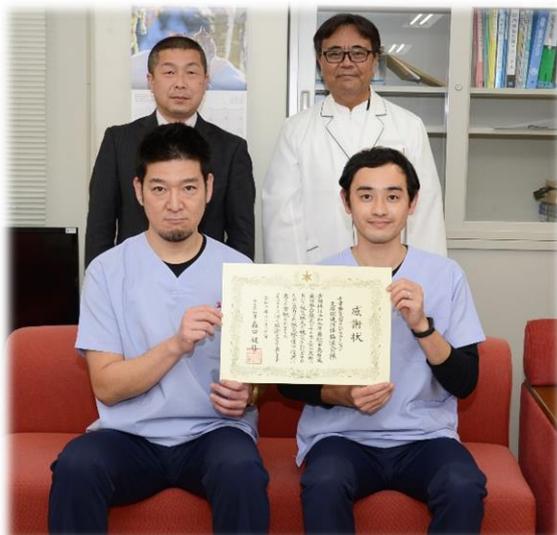
9/16~  
9/23

- ・千葉JRATから8チーム23名を派遣し、  
現地支援にあたる (千葉リハは3チーム  
8名派遣)

9/24

- ・安房地域のリハ資源 (広域支援センター) へ  
活動の引き継ぎをして、千葉JRATの活動  
終了。

※千葉JRATとは  
千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (旧略称 C-RAT)。菊地センター長が会長を務め、11の団体に構成される災害時のリハビリテーション支援を行う組織。千葉県と「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結しています。



菊地センター長 (右後)、千葉 JRAT 事務局を務める当センター地域リハ推進部の田中部長 (左後)、太田さん (右前)、後藤さん (左前)

# 保育士 小山内薫さんが「ねむの木賞」を受賞しました

小山内薫さんが、保育士としての長年の功労により「ねむの木賞」を受賞し、11月11日にザ・プリンス さくらタワー東京（東京都港区）で贈呈式が行われました。

## ●受賞された感想は？

まさか自分が受賞するとは思っていなかったのですが、正直ビックリしました。長い間センターに勤務していますが、何か特別なことをしてきたわけではなく、「私が受賞していいのかな？」という気持ちの方が大きかったです。利用者の方々、職員の皆様のおかげです。ありがとうございました。

## ●今までで一番嬉しかったことは何ですか？

一番は決められないです。利用者の方々との関わりの中で、日々、楽しさ・嬉しさ・悲しさ（たまに）等の様々な気持ちを感じています。30年近く愛育園に勤務していて、溢れるくらい沢山の思い出があります（歳のせいか最近昔の事をよく思い出します…）。

## ●これからの目標は何ですか？

新型コロナウイルスへの対応や電子カルテ導入、センターの建替えなどなど、私達を取り巻く環境が日々変わりますが、利用者の方々によりよい人生のために寄り添っていきける自分でもありたいし、しっかり目標を持ち、志の高い職員を育て、見守っていきたいです。



※ねむの木賞

「ねむの木の子守歌」の歌詞著作権を肢体不自由児事業振興のため(福)日本肢体不自由児協会へ下賜された上皇后陛下の御意志を永く記念するため、昭和42年に設けられたもので、永年肢体不自由児の日常生活指導業務に携わり、優秀な成績をおさめている者に対して授与される。

## センター案内図

### お車のご利用の場合

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

### 電車・路線バスのご利用の場合

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分



## 無料送迎バスのご案内

### JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

### 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について  
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近（専用のバス停はございません）  
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について  
中型バス（黄色）・・・2名  
マイクロバス（水色）・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。